

# 一步進んだシミュレーションツールによるプロジェクト実践力向上

## 【PBL成果物】

### 【成果物の概要と特徴】

#### 【教材】

- ・シミュレーションにて「立ち上げ」から「終結」までのプロジェクトの一連の流れを体験可能
- ・題材は、専門知識が無くとも実施できるように設定
- ・フェーズに分け、立上げから終結を、15Step(90分×2コマ)で学習できる構成
- ・成果物のサンプルとなる実戦でも使用可能なテンプレートを用意

#### 【eラーニング】

- ・教材をeラーニング化し時間や場所を選ばずPBLが実施可能
- ・「フォーラム」等のeラーニングシステムの機能を効果的に利用
- ・WebTVのツールを使ってeラーニングと集合学習とのブレンディッドラーニングを実現
- ・コンテンツの電子化と共通フォーマット化(SCORM形式)により、様々なシステムに展開可能

#### 【プロジェクト管理資料】

- ・管理資料は100人月規模のプロジェクト管理を実施するのに必要な管理資料を作成
- ・計画はプロジェクトが始まる前にプロジェクトメンバ、ステークホルダーへの承認を行うなど、作業は必要な手続きを行い管理
- ・適切な管理により、問題の早期発見と対処を実現

### 【成果物の具体例】

#### 【教材】

成果物	説明	容量
教材改善リスト	シミュレーション用の教材の改善ポイントのリスト	約60コメン
改善教材	改善ポイントを反映した教材	約100ページ
追加教材	リスク分析・リスクチェックシート等のテンプレートの追加	約20ページ

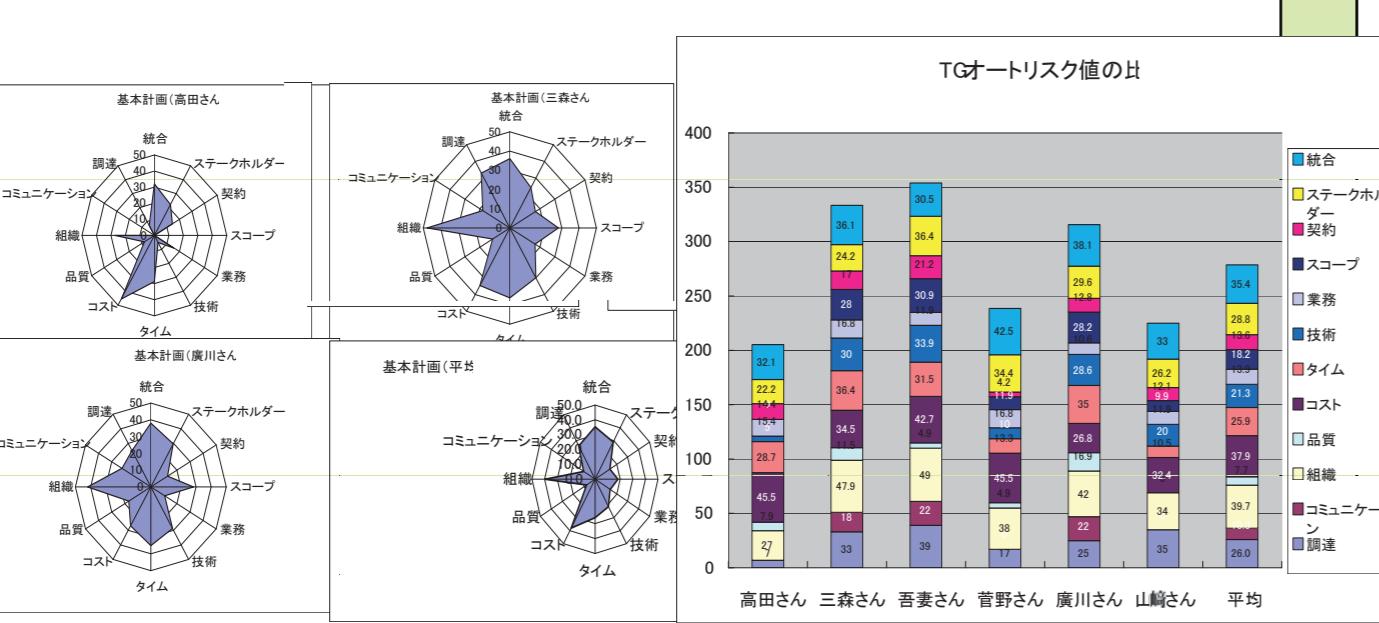
#### ・教材改善リストを作成



#### リストから変更点を管理

教材改善取組み件数		教材改善作業分担表			
内容分類	改善件数	候補	実施	主担当	副担当
現状維持	18	0		関口	
要否再考	5	2		千葉	
誤字脱字	10	10		高田	酒森
がく文実	6	4			
内容修正	21	14			
名称変更	3	3			
追加記入	1	0			
追加変更	1	1			
計	65	34			
合計					

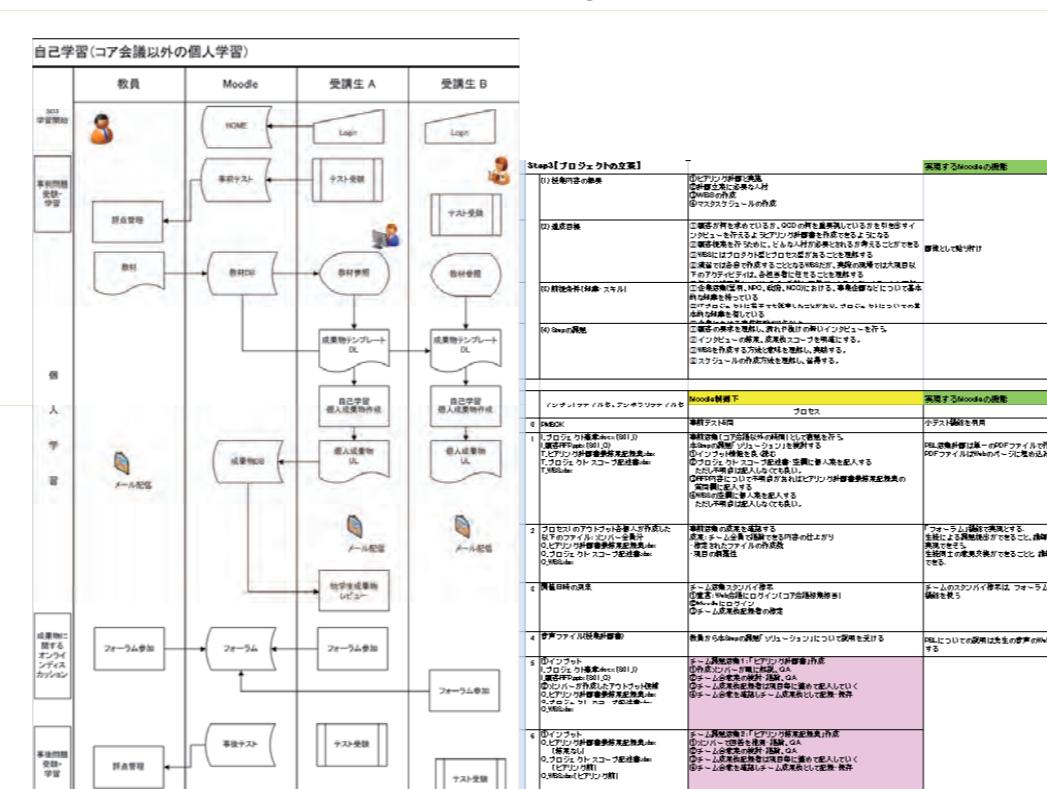
#### ・改善教材と追加教材を作成



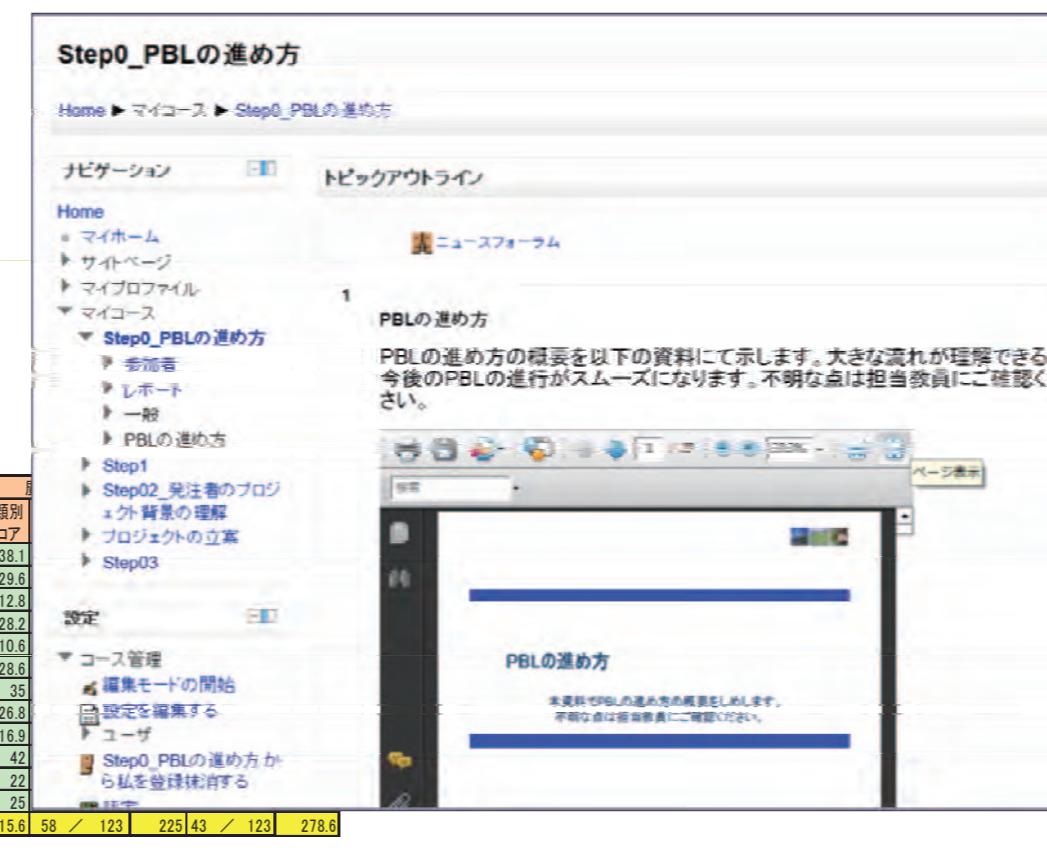
#### 【eラーニング】

成果物	説明	容量
eラーニング設計書	eラーニングをどのように作成するかの設計を記述	約20ページ
eラーニング	上記設計書に基づき作成したeラーニング(改善した教材を入れ、ブレンディッドラーニングを取り入れ、PBLを実現)	コンテンツ: 約10ページ (完成したラーニングシステム)
運用マニュアル	eラーニングシステムの運用方法を示したもの	約20ページ

#### ・eラーニングの設計書を作成



#### ・eラーニングを作成



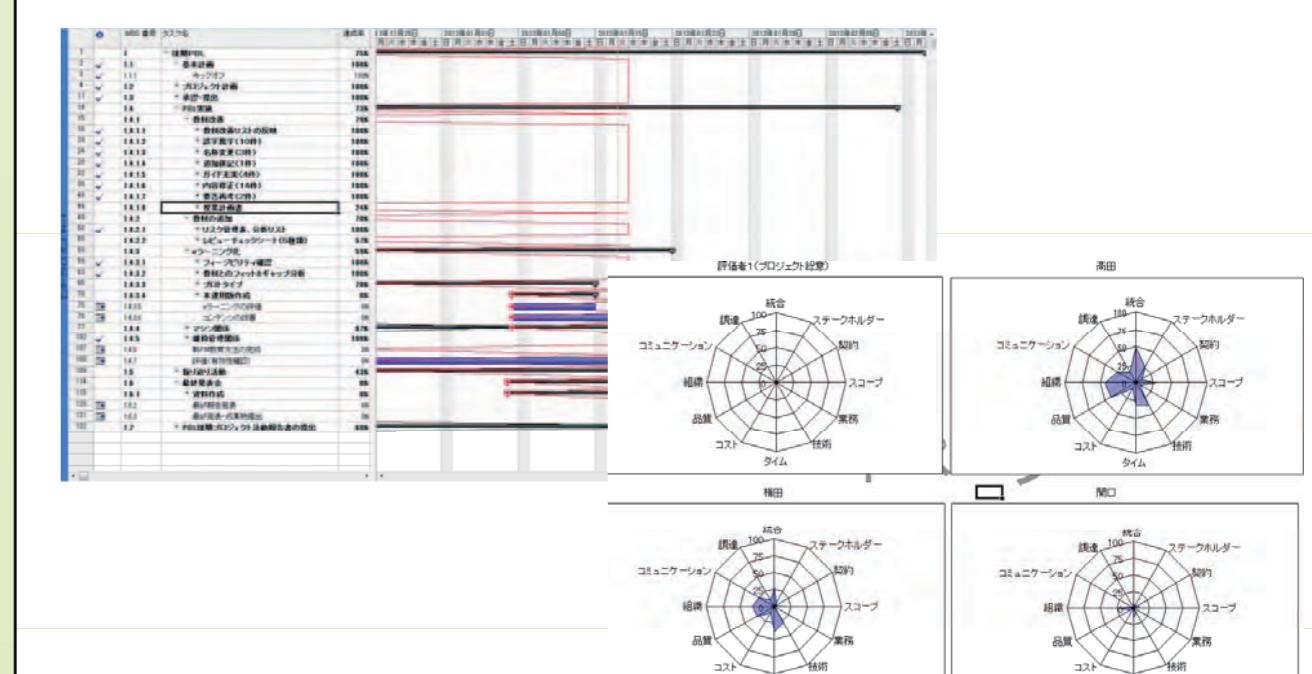
#### ・運用マニュアルを作成



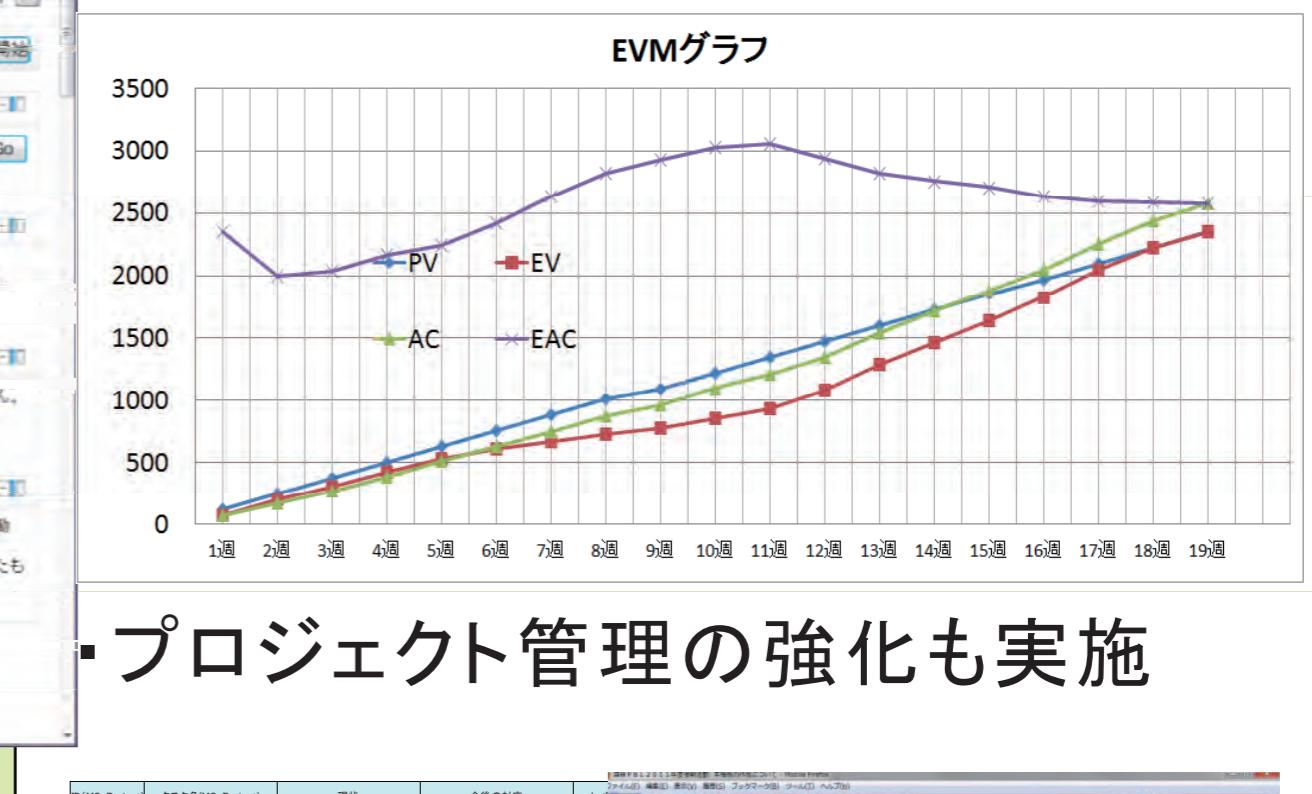
#### 【プロジェクト管理資料】

成果物	説明	容量
プロジェクト管理資料	スケジュール表、課題管理表、リスク管理表、EVM	
コア会議運営管理資料	タイムチャート、議事録	60回分
プロジェクト強化管理資料	成果物毎の個別進捗管理表、Moodleによる情報共有	2種類

#### ・スケジュール表、リスク管理表等作成



#### EVMで管理



#### ・プロジェクト管理の強化も実施

